

県内6大学の女子学生企画



自分たちがデザインしたポスターを見せ説明する実行委員会メンバー=神戸新聞社(撮影・宮路博志)

兵庫県内の女子大生の企画による女子大生のための働き方フォーラム「就活女子会 未来が見つかる120分」(神戸新聞社、ラジオ関西主催)が12月6日午後1時半から、神戸・三宮の神戸国際会館で開かれる。関西の女性経営者らを講師に招き、仕事の面白さや家庭との両立などをテーマに話し合う。

企画した女子大生らは、「就活という自先の問題だけでなく、キャリアを考えるきっかけにしてほしい」と参加を呼び掛けている。

委員会を結成。タイトルや内容、ポスター・デザインなどを決めてきた。当日の運営も担う。講師陣は、河内幸枝・マロニー社長、藤浪芳子・昭和精機社長、宮井真千子・パナソニック顧問ら関西の女性リーダーグループ「ミモザ会」のメンバー9

女性経営者招き働き方探る

人。働く女性の先輩として女子大生の就職活動を応援したいと協力することになった。フォーラムは第1部が講演と、若手先輩社員との対談。第2部は車座交流会で、テープルごとに講師1人を女子学生十数人が囲んで話し合う。

中小企業と大学生のマッチング支援事業「Mラボ」の一環。参加する女子大生100人を募集している。申し込みはMラボホームページから。同フォーム事務局(ラジオ関西事業部内) 078-362-7374

「就活♡女子会」開催へ

